

2021(令和3年10月19日)

関係者各位

JPA 技術委員会 委員長 二宮 正晴

デッドリフトでのバーベルの降ろし方について

平素より当技術委員会の業務に格別なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、表題の件、本年2021年より、国内独自ルールとしてデッドリフトでのバーベルの落とし方をルールブックに追記させて頂き、ルール化させて頂きました。

今回は、その内容について、不明確な部分が御座いますので、改めて説明させて頂きますので宜しく願い申し上げます。

《ルールブック追記事項(2021年1月1日より採用内容)》

P19

パワーリフティング種目とルール

3. デッドリフト

(f)バーはプラットフォームに静かにコントロールして降ろす事、コントロールして降ろす意思が無い選手は日本国内独自のルールとして“失敗試技”とする。

上記に記載されている様に、「コントロールして降ろす意思」が見える事がポイントとなります。

両手でバーを握っていてもダウンコールと同時に、脱力して自然落下に近い状態でバーベルを降ろした試技は失敗とします。

両手でバーを握りつつプラットフォーム上に静かに下ろそうとの意図をもって選手がバーをコントロールしながら降ろしていると審判から判断できる試技は成功とします。

審判の皆様、選手の皆様は、この**コントロール意識**の部分にご理解頂き、対応を頂けます様何卒よろしくお願い致します。

尚、この内容につきましては、11月6、13、20日のweb審判講習会でも、説明させて頂きますので宜しく願い致します。

【問い合わせ先】 公益社団法人 日本パワーリフティング協会 技術委員会

〒678-0239 兵庫県赤穂市加里屋字新町 98-16

電話 : 079-43-2000

E-mail: jpa.gijyutu@gmail.com